

平成 2 3 年

第 3 回仙北市議会臨時会

教育行政報告

仙北市教育委員会

平成23年第3回仙北市議会臨時会の開会にあたり主な事項についてご報告をさせていただきます。

はじめに東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げるとともに、犠牲になられた方々、ご遺族の皆様に謹んでお悔やみ申し上げます。

東日本大震災による教育委員会関係についての被害状況ですが、小・中学校の臨時休校や午前日課の実施、給食の中止、中学校卒業式、小学校入学式、田沢幼稚園入園式の延期、修学旅行の延期など、学校行事等に大きな影響がでています。

教育施設関係では、学校の非常放送用アンプの破損、体育施設の外壁や、基礎コンクリートの一部亀裂、郷土史料館の展示物、伝建群内の河原田家土蔵、岩橋家主屋土壁の一部破損などの被害がでております。加えて市民会館、公民館、学習資料館、平福記念美術館等の休館や、利用時間の短縮など多くの施設・設備に影響がでておりますが、幸い園児、児童、生徒、施設利用者など人身に被害は発生しておらず、ほっと胸をなでおろしているところです。

まだまだ余震が続いている状況ですので、今後も十分注意し管理運営に努めてまいります。

平成23年度は「学校教育の質の向上」をはじめとする諸課題に積極的に取り組むこととし、そのための事務局組織の改編を行い、「北浦教育文化研究所」や「スポーツ振興課」を設置するなど新たな体制でスタートをいたしました。

小・中学校の入学式も終了し23年度は、小学校7校、児童数1,298名（前年度比41名減）、中学校5校、生徒数713名（前年度比32名減）で新学期がスタートをしています。

なお、東日本大震災により市内の小学校に4月25日現在6名の児童が転入学をしており、各校には転入児童の心理面等にも十分配慮して指導するようお願いしております。

また、東日本大震災の被災地への支援策として、ボランティアとして被災地の児童を受け入れる「東日本大震災被災児童受入れホームステイ事業」を実施することとし、現在、被災児童を受け入れるホームステイ家庭を募集しているところです。

平福記念美術館では、画業20周年記念「細川良治日本画展」を開催しております。会期初日の4月17日には市内外の関係者や大勢のお客様にもお越しただいて盛大にオープニングセレモニーを行いました。

本展覧会は、細川さんの画業20年の歩みをたどる展示構成となっており、武家屋敷を描いた500号の大作や昨年70年ぶりの発見で全国的な話題となった「国鱒」を描いた作品、テノール歌手の本田武久さんと樺細工のピアノを描いた肖像画「若葉」（仙北市へ寄贈）などのほか、各種展覧会受賞作品も多数展示しております。5月31日までの会期中、より多くの皆様に鑑賞をいただけるよう、さらなる周知に努めてまいります。

以上申し上げまして教育行政報告とさせていただきます。